

みちくさマップ

覚王山と織田・徳川 名刹めぐり

全長 約5.5 km
(みちくさスポットを除いた距離)



参道を進むと、山門の偉容が姿を現し日泰寺へと至ります。四季折々の風情が楽しめる揚輝荘から東へ進むと城山の森一帯から四谷にかけて、織田・徳川ゆかりの名刹が続きます。徳川義直公の母の菩提寺相応寺から、信長の父信秀が築いた末森城址。さらに性高院から、信秀ゆかりの桃巖寺へと、歴史散策の道はロマンをかきたてます。

覚王山商店街

地下鉄覚王山駅から日泰寺へつながる参道を中心に広がる商店街。覚王山春祭、夏祭、秋祭など1年を通してイベントが多数開催されている。



城山商店街

城山八幡宮前交差点を中心に広小路通沿いに広がる商店街。北側には寺社仏閣が多く、南には文教地区が広がる。



キャットロード本山商店街

本山交差点から北東方向にある、猫洞通沿いに広がる商店街。本山から平和公園まで様々なお店を見ながら散策できる。



千種区の木 「ハナミズキ」

4～5月に白または桃色の花が咲く落葉樹。秋には美しく紅葉し、落葉後もつややかな赤い実が残ります。このエリアには街路樹として多く植えられています。

かく おう ざんしょう てん がい
覚王山商店街

にっ たい じ
日泰寺

せん たい じ ぞう どう
千体地藏堂

よう き ぞう
揚輝荘

にっ たい じ ほう あん どう
日泰寺奉安塔

じん せい じ
尋盛寺

たい かん じ
台観寺

だいいりゅう じ
大龍寺

だいいりん じ
大林寺

しょう ぼう じ ぞう どう しょう こう どう に がくりん
正法寺・曹洞宗高等尼学林

ぜん とく じ
善篤寺

そう おう じ
相応寺

みちくさスポット
あい ち がく いん だいがく くす もと
愛知学院大学楠元キャンパス

もと やま しょう てん がい
キャットロード本山商店街

しろ やま しょう てん がい
城山商店街

みちくさスポット
銘板「覚王山日泰寺の参道」

しろ やま はち まん ぐう すえ もり じょう し
城山八幡宮・末森城址・
きゅう しょう わ じゅく どう
旧昭和塾堂

とう がん じ
桃巖寺

みちくさスポット
ちよ ほん じ じん じゃ
千代保稲荷神社
なご や しよ
名古屋支所

みちくさスポット
なご や だいがく ひがし やま
名古屋大学東山キャンパス

注意事項

- ・ 史跡・文化財は、わたしたちみんなの貴重な財産です。汚したり、傷つけたりしないようにしましょう。
- ・ 自然を大切に、樹木を折ったり、ごみを捨てたりしないようにしましょう。
- ・ 施設の見学・拝観では、所有者や管理者の指示に従ってください。
- ・ 工事等により、コースの一部が通行できない場合があります。



千種区マスコットキャラクター「こあらっち」

銘板

みちくさスポット

「覚王山日泰寺の参道」

平成27年3月に設置された案内板で、「覚王山日泰寺」と呼ばれていた大正時代の「覚王山日泰寺」参道の写真や、昭和24年のゾウの練り歩き写真を見ることができる。



① 千体地藏堂

日泰寺山門前の参道東側に建っている。堂内には錫杖と宝珠を持つ立像と半跏の延命地藏がある。



② 日泰寺

明治33年シャム(現タイ国)の国王から贈られた釈迦の御真骨を奉安するために、明治37年に建立された寺。日本で唯一の宗派にも属していない寺院で、本堂、山門、五重塔、鐘楼など見事な伽藍をほこっている。毎月21日に開催される縁日は多くの人でにぎわう。



③ 揚輝荘

【一部要入館料】
中学生以下無料

大正から昭和初期にかけて松坂屋初代社長である伊藤次郎左衛門祐民氏の別邸として、約一万坪の敷地に30数棟の様々な建造物が建ち、各界の要人や文化人の社交の場となった。現在は、地階に壁画のある山荘風建物「聴松閣」や尾張徳川家ゆかりの座敷に洋室等を合築した「伴華楼」、池泉回遊式の庭園などが残っている。平成19年に名古屋市に寄贈され、翌年に5棟の建物が名古屋市指定有形文化財に指定された。



④ 日泰寺奉安塔

高さ15mのガンダーラ様式の花崗岩仏塔で、仏舎利が安置されている。県指定の文化財である。



⑤ 尋盛寺

文禄4(1595)年、尋盛上人が清洲に創建。中区の白川町を経て、現在地に移転。山門は清洲越し以来のものという。印章塚がある。



⑥ 台観寺

もとは三重県にあったものを、大正7(1918)年この地に再建。本尊は行基作と伝えられる阿弥陀如来。境内には弘法大師作といわれる大黒天があり、春の大黒祭は賑わう。



⑦ 大龍寺

江戸時代中頃東区新出来町に建立され、明治の末頃現在地に移転。通称「らかんさん」として親しまれている。建築様式は一見城郭のような唐様南蛮風のデザインになっている。



※敷地内への立ち入りはできません。

⑧ 大林寺

寛永5(1628)年、尾張藩祖徳川義直の家臣滝川忠征が、名古屋城築城の余材をもって中区桑名町に創建し、戦時中に現在地に移る。滝川氏の菩提寺で、境内には滝川一族の墓碑が並ぶ。



⑨ 相応寺

寛永20(1643)年、尾張藩祖徳川義直が生母於亀の方(相応院)のために東区山口町に創建。昭和7年、現在地に移転。総門・山門と本堂の扁額は義直の自筆である。



⑩ 善篤寺

もとは美濃にあり、清洲越しで中区大須に移った後、昭和13年に現在地に移る。山門は清洲越し以来のもの。境内に筆塚がある。



⑪ 正法寺・曹洞宗高等尼学林

昭和22年、尼僧学林がここに再建され、後に愛知専門尼僧堂、特別尼僧堂も建立され、厳しい仏門修行が続けられている。



⑫ 城山八幡宮・末森城址・旧昭和塾堂

織田信秀が築いた末森城は後を継いだ信行が兄信長に滅ぼされ、わずか10年ほどで廃城となった。この城址に昭和11年に建てられたのが城山八幡宮である。本殿裏手には市内最大級のアベマキの古木の連理木(1本の木が途中で2つに分かれた後再び1本にくっついている木。縁起がよいとされる)が見られ、縁結びの御神木として人気。境内の南西にひっそりと建つ旧昭和塾堂は、昭和3年に青年団の社会教育の場として建設された。



※敷地内への立ち入りはできません。

⑬ 愛知学院大学楠元キャンパス

ツタに覆われたレトロな学舎は昭和3年築で国の登録有形文化財。旧制愛知中学本館として建てられた。南欧テイスト溢れるスパニッシュ瓦と非常に凝った装飾を施された柱頭など、ノスタルジックな雰囲気が味わえる。



※敷地内への立ち入りはできません。

⑬ 性高院

名古屋大学の西、鏡池通に面した8階建てビルの寺で、徳川家康公の第四子松平忠吉公の菩提寺である。境内には忠吉公、殉死者、儒学者の天野信景、松平君山らの墓がある。忠吉公画像、双体地藏石碑、梵鐘など多くの市指定文化財が所蔵されている。



みちくさスポット

名古屋大学東山キャンパス

基幹総合大学として、各分野の先頭を走る人材を世界に輩出。入学式・卒業式が挙行される豊田講堂は大学のシンボル。門のない開かれた大学で、キャンパス内(建物内除く)を自由に散策できる。図書館、博物館、減災館、ノーベル賞展示室など一般公開(入場無料)されている施設もある。



みちくさスポット

千代保稲荷神社名古屋支所

「おちよぼさん」の愛称で親しまれる千代保稲荷神社(岐阜県海津市)の名古屋支所。無数の鳥居は桜の時期に絵になると評判。商売繁盛の祈願に訪れる人が多く、本殿前の重軽石は、重く感じるか軽く感じるかで、願ひ事の成就を占うことができる。



⑭ 桃巖寺

織田信秀の菩提寺として信行が建立した。本尊は聖観世音菩薩。守護神は弁天像である。中でも音楽や芸事にご利益があるといわれる「ねむり弁天」は有名である。境内には、信秀の墓と座高10mの青銅製の名古屋大仏や珍しい四方竹などがある。

